

きずなの郷

第18号
2005 秋

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成17年10月31日

ふれあい盆踊り

7月30日（土）、「第24回ふれあい盆踊り」がいこいの広場で行われました。

天気予報では、当日は雨の予報でしたが、天候にも恵まれ、夜でも暖かく浴衣を着た利用者と町民の方々が大勢集まり、千人を越える参加者で盛大に行われました。

町内の各団体の協力を頂き、焼き鳥、焼きウインナー、あげたこ焼き、かき氷などの様々な模擬店が所せましと並びました。わかふじ寮の利用者の方は、かわいい仮装をした方が踊りに参加され、会場を沸かせました。養護、特養の利用者の方も、飲んだり、食べたりと、とても楽しまれていました。今年は養護の利用者の方で女装をした方がいて、他の方々に「きれい、きれい」、「かわいいねー」などと言われていました。又、デイサービスを利用されている方も家族を含め昨年と比べ2倍の34名の方々が参加して頂き、食べたり、飲んだり、踊ったりと、とても楽しまれていました。更に今年は訪問、居宅サービス利用者の方も参加頂き、楽しまれました。

新得やすらぎ荘の利用者で外に出られない方達は、提灯をつるし紅白幕で飾り付けをした食堂で、職員の叩く太鼓のリズムに合わせて踊ったり、会場から運んだおでん、そば、焼きイカなどを美味しそうに食べられ、盆踊りの雰囲気を楽しめました。

これからもこの行事が、町民と利用者の架け橋になるよう続けていける事を願います。御協力を頂いた各団体の皆様、家族会の皆様本当にありがとうございました。



屈足わかふじ園きずなの郷まつり

8月27日（土）に屈足わかふじ園きずなの郷まつりが開催されました。今回で6回目になりますが、利用者・家族・地域住民の皆様参加のもとに共に支え合う地域社会の実現を目指すことを目的に開催されています。

当日は鳥串・豚串・焼きそば・焼きイカ等の露店の他に、新鮮な野菜・しいたけの直売わかふじ寮のパン、射的等のゲームコーナーを設け、祭りを盛り上げていました。

またアトラクションとして、「早食い競争」「旗上げゲーム」「体重当てゲーム」を行いました。それぞれ利用者・家族に参加していただきましたが、皆一生懸命に早く食べようとする姿や、やってみると以外に難しいゲームに迷う姿もあり利用者だけでなく一般の方にも楽しんでいただけたかと思います。さらにフィナーレでは、音更町の「翔華”99」の皆さんによるヨサコイを華麗に披露していただきました。

当日は、前日からの雨予報とは反対に汗ばむ程の晴天に恵まれ、出店、ボランティアの方々、地域住民の方々の協力もあり大成功に終わりました。これもひとえに、この行事の趣旨にご賛同いただいた皆様方のお陰です。ありがとうございました。来年のきずなの郷祭りにも今年同様の御協力下さりますよう、お願ひいたします。

ふれあい盆踊り…	1
屈足わかふじ園	
きずなの郷まつり…	1

厚生協会からのお知らせ

介護保険法一部改正	
障害者自立支援法…	2

各施設からのたより

わかふじ寮・やすらぎ荘	
新得やすらぎ荘…	6
屈足わかふじ園…	10

ご寄附・ご寄贈芳名…	12
------------	----

商品ご案内…	12
--------	----



介護保険法が一部改正されます

平成17年8月、介護保険制度の改革についての法律案が国会で承認されました。この改革の目的は、制度の基本理念である、高齢者の「自立支援」、「尊厳の保持」を基本にしつつ制度の持続可能性を高めていくため以下のような概要が示されております。

改正の概要

1) 予防重視型システムへの転換

- ・ 新予防給付の創設
- 軽度者（要支援、要介護1）に対するサービスが状態の改善につながっていないことから、要介護状態の軽減、悪化防止に効果的な、軽度者（要支援、要介護1）を対象とする新たな予防給付を創設する。マネジメントは地域包括支援センター等が実施する。
- ・ 地域支援事業の創設
- 要支援、要介護になるおそれのある高齢者を対象とした効果的な介護予防事業を、介護保険制度に新たに位置づける。

2) 施設給付の見直し

- ・ 居住費用、食費の見直し
- 介護保険と年金給付の重複の是正、在宅と施設利用者の負担の公平性の観点から介護保険3施設（シヨートステイを含む）の居住費用や食費について保険給付対象外とする。但し低所得者については、負担軽減を図る観点から新たな補足的給付を創設する。また通所系サービスの食費についても保険給付の対象外とする。

「補足給付の水準」

それぞれの所得段階に応じ、補足給付の基準額－負担上限額が補足的給付の額となる。

	居住費用	食費
補足的給付の基準額	個室 6.0万円 準個室 5.0万円 多床室 1.0万円	4.2万円
負担上限額		
第1段階 (生活保護受給者等)	個室 2.5万円 準個室 1.5万円 多床室 0万円	1.0万円
新第2段階 (市町村民税非課税かつ年金収入が 80万円以下など)	個室 2.5万円 準個室 1.5万円 多床室 1.0万円	1.2万円
新第3段階 (市町村民税非課税かつ新第2段階 被該当者)	個室 5.0万円 準個室 4.0万円 多床室 1.0万円	2.0万円

(注1) 数字は一人あたりの月額

(注2) 個室はユニット型の個室、準個室は非ユニット型の個室及びユニット型で個室に準ずるものも含む

(注3) 施設において設定している居住費用及び食費がこの基準額を下回る場合は、施設において設定している額と負担上限額との差額が給付額となる。

3) 新たなサービス体系の確立

- 低所得者に対する措置
- 保険料段階の「新第2段階」については、現行の月額上限を引き下げる。
月額上限 2.5万円 → 1.5万円
- 介護保険の施行日（平成12年4月1日）前に市町村の措置により特別養護老人ホームに入所していた者の多くは所得が低く、経過措置終了に伴う負担増により施設利用の持続が困難となることも考えられるため、現行の負担軽減措置の実施期間をさらに5年間延長する。
- 身近な地域で、地域の特性に応じた多様で柔軟なサービス提供が可能となるよう夜間対応型訪問介護、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護等の「地域密着型サービス」を創設する。
- 地域における総合的な窓口機能、介護予防マネジメント、包括的・継続的マネジメントの支援を担う「地域包括支援センター」を創設する。
- ケアつき居住施設の充実、有料老人ホームの見直しを図り、居住系サービスの充実を図る。

介護保険法が一部改正されます

4) サービスの質の確保・向上

- 情報開示の標準化として、介護サービス事業者に事業所情報の公表を義務づける。
- 指定の更新性の導入や欠格要件の見直しを行い事業所の質の向上を図る。
- ケアマネージャー資格の更新性の導入や研修の義務化等を行う。

5) 負担のあり方・制度運営の見直し

- ・ 第1号保険料の見直し
- 低所得者に対する保険料軽減など負担能力を決め、細かく反映した保険料設定にすることと、特別徴収（年金からの天引き）の対象を遺族年金、障害年金へ拡大する。また特別徴収対象者の把握時期を複数回化する。
- ・ 要介護認定の見直しとして、申請の代行や委託調査の見直しを行う。
- ・ 市町村の保険者機能の強化
- 都道府県知事の事業者指定に当たり、市町村長の関与を強化する。
- 市町村長の事業所への調査権限の強化を図る
- 市町村事務の外部委託等に関する規定を整備する。

6) 被保険者・受給者の範囲（附則検討規定）

- ・ 政府は、介護保険制度の被保険者及び保険給付を受けられる者の範囲について、社会保障に関する制度全般についての一般的な見直しと併せて検討を行い、平成21年度を目途として所要の措置を講ずるものとする。

7) その他

- ・ 「痴呆」の名称を「認知症」へ変更
- ・ 養護老人ホーム、在宅介護支援センターに係る規定の見直し
- ・ 社会福祉施設職員等退職手当共済制度の見直し

施行期日 平成18年4月1日

* 7の「痴呆」の名称の見直しについては公布日施行。2の「施設給付の見直し」については、平成17年10月施行。5の特別徴収対象者の把握時期複数回化は平成18年10月施行。

新得やすらぎ荘では、10月の法改正に向けて9月22日に家族への説明会を開催しました。当日は、新得町保健福祉課の武田係長、同介護保険係の加藤係長にお越しいただき、改正内容について説明を行いました。その後活発な質疑応答の場面もあり、高畠施設長からの説明も加えて、新たな契約の取り交わしを行いました。

■ 障害者自立支援法国会へ再提出

郵政法案による8月8日の衆議院解散に伴い、廃案になっていた「障害者自立支援法」が9月11日実施された総選挙での自民党の圧勝を受け、9月30日に閣議決定、同日国会に提出されました。先の国会で、衆議院では可決されていたため、参議院からの審議となり、10月5日参議院本会議で趣旨説明、6日からは厚生労働委員会での審議が始まりました。

今回の法案の再提出にあたっては、前国会での衆議院での与党提案による修正が盛り込まれました。修正点は以下の通りです

- ①障害者基本法の基本的理念にのっとり行われることを法律の目的規定に明記すること。
- ②施行後3年を目途として障害者等の範囲を含めた検討を行う規定を設けること。
- ③就労の支援を含めた障害者等の所得の確保に係る施策の在り方についての検討を行う規定を設けること
- ④利用者負担に関わる改正事項の施行日を平成18年1月1日から平成18年4月1日に変更して再提出されたことが報告されました。

法案は、10月13日には、厚生労働委員会で、14日には参議院本会議において与党の賛成多数で可決されました。18日からは舞台を衆議院に移して審議が始まりましたが、先の国会での自民党の圧勝を受け法案の今国会内（会期は11月1日まで）での通過は間違いない状況で、与党側は26日には可決する予定のようです。

いずれにしても、法案の通過は間違いない状況です。厚生労働委員会としても、自立支援法成立に伴う、利用者負担の増、施設事業体系の見直し等、課題が山積していますが、利用者の不利にならないよう、対応には万全を図りたいと思っております。今後折をみて利用者、ご家族に対する説明会を予定していますので宜しくお願ひ致します。

この記事は、平成17年10月21日現在の情報をもとに書かれたものです。広報誌発行時には内容が変わっている場合も考えられます。ご了承願います。尚、法案は10月31日衆議院本会議で可決されました。

全道ろうあ者夏季体育大会

(わかふじ寮)

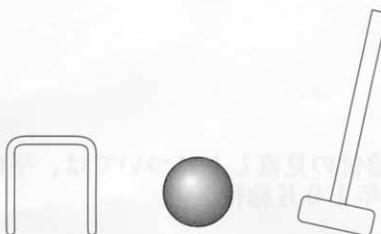
6月25日、26日の両日、第38回全道ろうあ者夏季体育大会が函館市内で開催され、わかふじ寮からは19名の利用者が参加しました。道内各地からは約320名の聴覚障害者選手が参加しました。大会にはゲートボールやパークゴルフの他にボーリングやソフトボール、バドミントンなどの7種目の競技が催されました。ゲートボールとパークゴルフの2種目の競技に参加しました。

パークゴルフ競技では、佐治信也さんが優勝しましたが、他の参加者は日頃の練習の成果が發揮されず入賞した方がいなくて残念でした。

ゲートボール競技ではAチームとBチームの2チームを編成して出場しました。そのうちAチームが準優勝しましたが、Bチームについては惜しくも4位に終わってしまいました。残念ながら2チーム揃っての入賞は果たせませんでした。準優勝を果たしたAチームは、ゲートボール競技全国大会の出場権を獲得しました。

来年の全道ろうあ者夏季体育大会(第39回)は新得町において開催される予定になっています。入賞された皆さんの成績は次の通りです(敬称略)。

パークゴルフ競技 1位 佐治信也 107
ゲートボール競技 2位 わかふじ寮Aチーム
(横尾義晴、老木洋二、山内幸男、佐治信也、後藤勝治)



北海道障害者スポーツ大会

(わかふじ寮)

7月9日、10日の両日、第43回北海道障害者スポーツ大会が室蘭市入江運動公園陸上競技場で開催され、10名の利用者が参加しました。道内各地からは約1,300名の障害者(うち聴覚障害約70名)選手が参加するという、年に1度の道内で大規模なイベントです。

2ヶ月前より高畠指導員が作業終了後の余暇時間を利用して利用者に練習及び指導を行いました。努力の成果が大会に発揮されたのか選手の全員が好成績を収め、2位以内の上位入賞となり、全員がメダルを持ち帰り、晴れ晴れした顔で大会の翌日の朝礼で全利用者の前に報告することが出来ました。

入賞された皆さんの成績は次の通りです(敬称略)。

100m走	1位	亀田 尚志	16秒03
	2位	金子 弘	23秒79
200m走	2位	井上 勝	40秒28
5000m走	1位	高畠美優治	21分15秒09
走幅跳	1位	木村 容子	1m99
やり投	2位	須田 有示	17m88
砲丸投	1位	大山 和広	6m91
ハンドボール投・男子1組	1位	齊藤 拓美	24m17
	2位	辻田 貴久	17m25
ハンドボール投・男子2組	1位	犬飼 正	21m37
ハンドボール投・女子1組	1位	木村 恵	13m73



展示会(ナイスハートバザールインしんとく) (わかふじ寮)

6月18日、19日の両日、わかふじ寮の「地域交流ホームふじ」にて木工製作品展示即売会が開かれました。

当日は木製品の他にタイムサービスでパンの販売を始め、限定目玉商品や定価の半値で食卓テーブルセット、タンス類、食器棚など倉庫の解体に伴う「在庫一掃セール」を行いました。

新得町内での即売会は4年振りということもあり、近隣町より大勢の方々に来て頂き予想以上の成果を上げることが出来ました。



食事会

(わかふじ寮)

恒例行事の「食事会」が、今年も7月5日から25日までの間、13回に分かれ、作業終了後の夕食時間を利用して回転寿司、焼肉、居酒屋など4種類の飲食店で行われました。

利用者は普段、外食をする機会があまりないため、4種類の食事からひとつ選んで頂きましたが、中でも回転寿司を選ぶ利用者が大半を占めるなど大人気となりました。回転寿司は直接店員に注文しないで、自分で好きなネタの入ったお寿司を取り、食べられるのが良いようです。

一人でたくさんのお皿を空高く(?) 積み上げて、「こんなにたくさん食べましたよ」と笑顔で応えた利用者もいました。今年も大好評であったことから、来年以降にも是非継続して行きたいと思います。



交通安全教室 (わかふじ寮)

わかふじ寮、第2わかふじ寮、わかふじワークセンターの全利用者を対象にした交通安全教室が、土曜活動の時間を利用して町内の新得モータースクール様のご協力で6月11日に実施されました。

初めに新得モータースクールの指導員が自動車と自転車の多い事故例のデモンストレーションを見せて頂き、事故に遭わないように説明を受けました。



その後、自転車と歩行それぞれのグループに分かれました。自転車のグループは交差点での確認方法(右左折の合図の姿勢や合図を出すタイミングなど)、歩行グループでは事故に遭わない方法(特に夜間には衣服類に反射材や蛍光テープなどを身につけることが効果的)と、重点的に学習しました。最後には「日頃から交通事故に遭わないよう心がけてください」と声をかけてくださいました。

新得モータースクールの皆さん、お忙しいところ本当に有難うございました。

避難訓練(さあ、逃げろ)

(わかふじ寮)

避難訓練が6月30日、木工作業棟より火災発生を想定して実施されました。

職員は消火班と施設利用者を屋外に避難させるための避難班、逃げ遅れた利用者がいないかどうかの確認をするための生活(居住)棟や作業棟の確認班などに分かれ、火災発生後、5分間程度で緊急集合場所の隣接する新得中学校の敷地に避難しました。ただちに人員の確認が行われ、施設利用者及び職員は真剣に取り組んでいました。

次回は夜間想定の避難訓練を行う予定です。



ヒーロー・ヒロイン (新得やすらぎ荘)

今回ご紹介するのは、望木正雄さんです。7月に入所されました。以前よりショートステイをご利用されていたため、特養の生活にはすぐに慣れたようです。望木さんはとても愛妻家で、奥さんのお話をするといつも照れ笑いをされ、奥さんが面会に来られると嬉しそうに笑い帰った後も奥さんのお話をされます。

また、少しずつですが歩く練習をされ、今では職員と一緒に施設内を散歩されています。これからも奥さんの事を思いながら楽しい生活を送って頂きたいと思います。



おやつの日 (新得やすらぎ荘)

6月15日は年に2回の「おやつの日」でした。前回は団子で和風のおやつだったので、今回は洋風で中に生クリームと果物が入ったクレープ、チョコレートソースとアイスクリームを添えたデザートに飲み物は、お茶、カルピス、紅茶を用意し選んで頂きました。いつもはジュース類が人気なのですが、今回は甘めに作った紅茶が人気でした。

皆さんに大好評で、あつという間に食べられ「おかわりはありますか」と聞く方もいらっしゃったり、いつもせんべいや和菓子を多く食べられる方も「なんだか贅沢をした気分になるね」と言われ喜んで頂きました。



花火大会 (やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

8月8日毎年恒例の花火大会が行われました。打ち上げ花火や吹き上げ花火が沢山上がり、近くで見ている方は「よかったです」「とても綺麗だった」など笑顔で話されていました。また部屋の窓から見ていた方もいらっしゃいましたが、花火が上がるごとに歓声をあげたり、ベットから起きあがり、綺麗な花火に感動され、涙する利用者の姿もあり、みなさんに大変喜んで頂くことが出来ました。また、この日は暖かく、花火を見ながら、お菓子やスイカを食べたり、ジュースやお酒を飲み、花火を見るには最高の日になったのではないかと思います。



買物外出・外食 (新得やすらぎ荘)

6月8日、9月21日と、2つのグループに分かれて帯広のイトーヨーカドーに出かけました。普段なかなか帯広へ行く事は出来ないので、何日も前から当日着ていく服を選んだり、新聞の広告を見て「何を買おうかしら」と待ちきれない様子でした。

お店の中が広い事もあり、なかなか気に入った物を見つけられなかったりと大変な事もありましたが、たくさんの種類の中で「どっちの服が似合うかしら」と迷う姿もあったり、「これは安い!」とたくさん買われたりと買物を楽しんでいました。

又、7月13日には芽室の羽衣亭、7月20日、7月27日はレイクインに外食に行きました。いつもと違う雰囲気の中、利用者の皆さんは、食が進んだ様でたくさん食べられ、満足して頂きました。



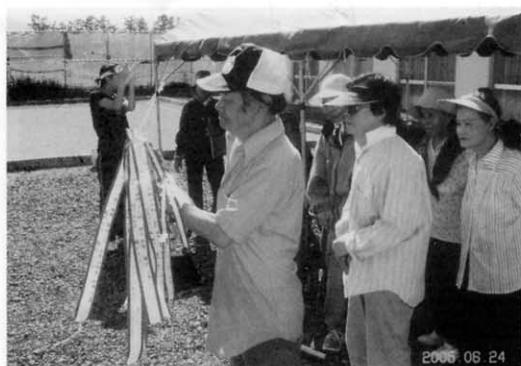
施設内ゲートボール大会

(やすらぎ荘)

去る6月24日、やすらぎ荘恒例の施設内ゲートボール大会が開かれました。今回は養護・特養から合わせて28名が参加し、5チームに分かれて白熱したゲームが繰り広げられました。

恵まれた天候の中、ボールがゲートを通過したり、相手チームのボールに当たったりすると、応援席からも歓声が上がりました。

次回は秋に予定。今度はどんな熱戦になるのか、今から楽しみです。



2006.06.24

北手協十勝ブロック研修交流会

(やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

7月24日(日)に、北手協十勝ブロックの皆さん、総勢60人が高畠施設長の講演を聞いた後、やすらぎ荘へ見学交流のため来荘されました。

特養と養護に分かれ施設見学した後に再度特養と養護に分かれ、特養はデイホールで風船バレー、養護は食堂でタオル渡しゲームをそれぞれに楽しまれました。初めは勝負を賭けて手足を一生懸命動かし、最後は笑顔、笑い声の中、勝負に関係なく頑張りました。

ゲームが終わった後は、北手協十勝ブロックの皆さんが、お土産を持ってきて下さったお菓子を、一人一人に手渡して下さいました。頂いたお菓子とお茶で楽しく談笑し、束の間でしたが、皆で楽しい一時を共有しました。

豊富な企画や、施設見学、交流会など、多くの活動が行われました。また、施設内では、お茶会や懇親会など、和やかな雰囲気での交流が行われました。

開所記念日帰り旅行

(やすらぎ荘)

6月28日(火)に利用者47名と職員18名で、開所記念日帰り旅行に富良野に行きました。

ラベンダーを見に富田ファームを通りましたが、残念ながら時期が早く咲いていませんでした。

昼食場所のレストラン「おもいでふらの」に着いて美味しいジンギスカンを食べました。

昼食後は、美瑛町の「ぜるぶの丘」に行き、きれいな花を見て集合写真を撮る予定でしたが、雨が降り撮れませんでした。帰る途中、雨も上がったので、富田ファームにより集合写真を撮り、美味しいソフトクリームを食べて、皆さん楽しめ帰荘しました。



2006.06.28

お茶クラブ

(やすらぎ荘)

やすらぎ荘では、利用者のクラブ活動の1つにお茶クラブがあります。1ヶ月に1度、屈足の千葉先生に来荘して頂き、利用者の皆さんに、お茶の作法を教えてもらっています。

いつもは、やすらぎ荘の娯楽室を使用していますが、8月9日はわかふじ寮の茶室を借りて行いました。先生と利用者の皆さんには、浴衣を着てわかふじ寮に行き、いつもと違う場所と雰囲気の中、少し緊張ぎみでお茶の作法を学び楽しみ、最後は全員で集合写真を撮りました。これからも、利用者の皆さんに喜んで頂けるように、続けていきたいと思っています。



全道ろうあ老人交流会 (やすらぎ荘)

第28回全道ろうあ老人交流会が、8月27日と28日の一泊二日で、十勝川温泉の雨宮館で行われました。夜の交流会には、久しぶりの仲間と手品、抽選会に、会場を沸かせました。あつという間に時間が過ぎ、楽しい余韻を残し、部屋に戻ると、窓の外には花火が上がっていて、みんなで夜空の花火を満喫しました。

次の日は、第16回全道ろうあ老人ゲートボール交流会が、下士幌会館前ゲートボール場で、炎天下の中始まりました。やすらぎ荘チームは、1試合目で嬉しい1勝をする事が出来ました。あまりの暑さに、役員の配慮で、屋内ゲートボール場に移動し、再開しました。残りの2試合は、残念ながら負けてしまいましたが、とても良い交流が出来たと思います。来年の開催地は旭川市の予定です。



防災週間

(デイサービス)

8月31日～9月6日の一週間を防災週間とし、防災に関するビデオを見てもらい、施設全体の非常口と避難経路の説明を行いました。

ビデオでは、火災に関する内容で身近に起こりうる出火の原因を紹介し、その対処の仕方や防炎製品の詳しい話もあり、火の取り扱いの注意や危険性を再確認したという声も聞かれました。また、8月31日の避難訓練では、出火の第一報から2分38秒ですべての避難を無事終了することができました。みなさんは真剣に参加していただき、防災意識を今まで以上に持っていただけだと思います。



エステシャン来荘

(やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

6月21日、帯広の〈フェイス〉のエステシャンの方が2名来荘され、利用者5名の方がエステを体験しました。

エステシャンの方は、親切に肌の悩みを聞いたり、一生懸命マッサージをしてくれて、利用者の方に大変喜ばれていました。中にはマッサージを受けている間気持ちが良かったのでしょう、眠ってしまう方もおられました。

終了後はつるつるになった肌を何回も鏡で見て満足され、大好評で終了しました。

今後も、月に1回程度来荘される予定で、楽しみが一つ増えたと心待ちにされている様でした。



川中美幸さん来荘

(やすらぎ荘)

演歌歌手・川中美幸さんの新曲「うすゆき草」が町内の大雪山系に成育していることが縁となり、新得町初の観光大使に任命されたことがきっかけで8月23日、やすらぎ荘に慰问に来られました。

まず始めに佐々木理事長が挨拶され、その後川中美幸さんから挨拶とプレゼントのタオルを頂き、利用者と握手しながら一緒に写真撮影も行いました。当初では歌って頂く予定はありませんでしたが、ご本人の心遣いによりアカペラで「うすゆき草」を披露して頂きました。屈足わかふじ園の利用者も参加され、川中さんが帰られる際、玄関まで見送り最後まで手を振っている方もいました。皆さん以前から待ち望んでいた事もあり、大変喜ばれ思い出深い日になりました。



夏の夕べ

(屈足わかふじ園)

7月22日（金）夏の夕べを行いました。当日の夕食は普段と違い、食堂に吹き流し等の飾り付けをし、メニューも「揚げタコ」「ケーキ」「フランクフルト」「焼きそば」等のバイキングメニューとして用意しました。そして利用者個々の食事形態に合わせた料理を職員がテーブルを回り、利用者に自分の食べたい料理を選んでもらい、お祭り気分を楽しみながら食事をいただきました。

食事の後は駐車場にて花火大会を行いました。自分で持てる方は自分で花火を持ち、持つことができない利用者は、職員が手を添えて介助しながら楽しみました。花火の中には色々な仕掛け花火や打ち上げ花火もあり、歓声をあげながら楽しい夜を過ごしました。



ドッグショー

(屈足わかふじ園)

去る7月20日（水）、施設の裏庭を使用して、新得町内の愛犬家有志の方々によるドッグショーを行いました。最初は犬を怖がっていた方もいましたが、ボーダーコリーやラブラドールレトリバー等の可愛い犬たちのショーを見て、とても大きな歓声を上げていました。

後半には、目の前まで来た犬を撫でたり、利用者も一緒にフリスビーを投げ、キャッチしてもらったりしました。フリスビーを投げることは初めての体验の方もいましたが、順番が来ると上手に投げていて、犬が上手くキャッチできるたびに歓声があがっていました。普段、動物と触れ合う機会が少ない利用者も犬とふれあう事ができ、とても満足されていました。

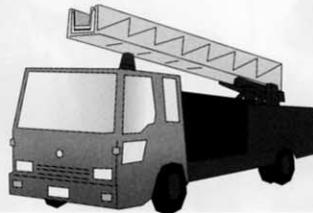


避難訓練

(屈足わかふじ園)

7月26日（火）避難訓練を行いました。訓練は、午前10時にボイラー室より出火という館内放送の後、各自職員の誘導等に従い安全な避難経路を確認しながら施設の外に出ることを目的に、職員も出火場所と安全な避難口を確認しながら誘導にあたりました。結果としては、事前に予想していた避難完了時間に近い形で避難誘導することができたことと、避難経路、場所についても混乱なくスムーズに誘導できたことで当初の目標は達成できたと思います。最後は職員の消火器による消火訓練も行い終了しました。

施設では今後もあらゆる災害に対する対策マニュアルを整備していくと共に、万一の災害に備えています。



盆踊り

(屈足わかふじ園)

8月15日（月）、屈足中央駐車場で盆踊りが行われ、午後からと夕方から参加の2組に分かれて行きました。午後から参加された方は魚のつかみ取りなどを見学しました。職員1人も代表で挑戦ましたが残念ながら捕まえることはできませんでした。

又、夕方から参加された方は子供盆踊りの輪に加わり、子供達と一緒に新得音頭を踊りました。この日は少々雨も降りましたが、催しを見学しながら屋台で販売している豚串や焼きそば、フライドポテトなどを食べながら楽しく過ごされておりました。



日帰り旅行

(わかふじ園)

6月より日帰り旅行が始まりました。今年は映画、十勝千年の森、花畠牧場、釣りの4コースから利用者に選択してもらい行いました。幸い各コースとも天候に恵まれ、参加された利用者の方々は、それぞれの場所でおいしい昼食を食べ、自分の好きなところに行けたこともあり大変満足しておりました。中でも花畠牧場においては、乗馬を体験した利用者もいて、「初めてだったが思い出になる体験ができて良かった」と話しておりました。



プロ野球観戦

(わかふじ園)

6月29日（水）～30日（木）に一泊旅行の行事として札幌に行ってきました。この旅行の最大の目的は札幌ドームで野球観戦をすることで、今年も日本ハムファイターズからの招待を受け、野球好きの男性利用者4名が参加されました。

途中、休憩を挟みながら約4時間かけて札幌に到着し、最初に宿泊先のホテルに寄り、応援準備を済ませ札幌ドームに向かいました。試合前は、選手のグッズを買ったり、練習風景を見ながら今日の先発予想や試合展開の予想についての話がはずみました。

対戦相手が西武ライオンズということもあり観客も比較的多めでしたが、いざ試合が始まると好プレーに拍手し、ファンによる応援に合わせて一緒に声を出していました。試合は応援していた日本ハムが勝利したこともあり、帰りの車中では、各選手のプレーや試合経過の話で盛り上がりながらホテルに戻り、翌日はサッポロファクトリーを見学し夕方帰園しました。利用者からは来年も行きたいという声が多くありました。

清掃ボランティア訪問

(わかふじ園)

6月30日（木）に役場OB会の方々が清掃ボランティアに来園し、窓の清掃、車イス清掃、利用者の清拭用タオルを作っていました。

窓の清掃は、普段なかなか出来ずおりましたが、OB会の方々のおかげで見違えるほど綺麗になり利用者からも「明るくなったね」との声が聞かれました。

車イス清掃では、車イスの前輪に絡みついた髪の毛や毛くず等まで綺麗に取り除いていただき利用者からは「綺麗になっただけでなく軽くなり操作しやすくなったよ」と大変喜んでおりました。

清拭タオル作りは遅れがちでありましたが、ボランティアの方々に適当な大きさに切ってもらいました。準備できたことで介護職員も大変感謝しております。

今回は、普段気になっていてもなかなか手が回らなかった部分をボランティアの方に手伝って頂き、利用者だけではなく職員も大変感謝しています。

またこのような機会がありましたらお願いたいと思います。OB会の皆様本当にありがとうございました。

屈足保育園運動会

(屈足わかふじ園)

6月26日（日）に屈足保育園よりご案内をいただき運動会に参加しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、参加された7名の利用者は、天候に左右されず走りまわる園児の姿や遊戯をみているうちに天候のことも忘れて応援をしていました。また競技の中には、利用者が参加できる種目もあり、運動会の雰囲気を肌で体験できることもできました。

利用者にとっては、かわいらしい園児に元気づけられる場面も多いことから、今後も交流をする機会があれば参加させていただきたいと思います。



新入所者紹介

(屈足わかふじ園)

【桶田和美さん】

昭和18年10月6日生

平成17年8月1日に新得町から入所されました。いつも笑顔で周囲の方に声をかけてくれる温厚な方です。地元出身ということもあり、慣れ親しんだ環境で楽しく生活しております。趣味は手芸で、デイサービスの利用者の方と一緒に日々創作活動に取り組んでいます。

【中川 育さん】

昭和61年7月7日生

平成17年9月1日に広尾町から入所しました。

施設においては最年少の19歳です。最初は寂しさもあったようですが、今では生活にも慣れ、買い物に出かけたり利用者や職員と一緒に遊んだりして楽しく過ごしています。

趣味は音楽、ビデオ鑑賞でアイドル好きの女性です。これからもよろしくお願ひします。

【本田義政さん】

昭和19年1月7日生

平成17年9月22日に幕別町から入所しました。

以前は白老町にある施設に入所されておりましたが、この度、ご家族が近くに居るということもあって利用となりました。物静かな性格ですが、やさしい表情をいつも浮かべながら他の利用者とも仲良く生活しております。

行事のお知らせ

わかふじ寮

12月17日 クリスマス会

屈足わかふじ園

11月17日 音楽レクレーション

12月24日 クリスマス会

新得やすらぎ荘、やすらぎ荘

11月21日 鍋の会

11月28日 長寿祝い

12月24日 クリスマス会



新入所者紹介

(やすらぎ荘)

やすらぎ荘に、新しい仲間がたくさん入りました。



【七條 進さん】

昭和13年7月19日生

5月21日に幕別町から入所されました。いつも笑顔を絶やさない、心優しい方です。照れながらもいろいろ行事に参加されています。



【安藤 貞行さん】

大正14年2月22日生

6月20日に幌延町から入所されました。お酒が大好きな陽気な方で、良く故郷の話を聞かせてくれます。



【貝田 男一さん】

昭和10年4月17日生

6月30日函館市から入所されました。柔道の経験もある、頼もしい方です。自転車で色々な場所を見に行っています。とても元気な方です。

新入所者紹介

(新得やすらぎ荘)



【松田 利勝さん】

大正7年10月26日生

平成16年9月6日に入所されました。もうすっかり特養の生活にも慣れた様子です。帽子と指輪が好きなようでいつも身につけています。



【増田 一芳さん】

昭和8年12月10日生

平成17年3月31日に養護老人ホームひまわり荘から入所されました。食事もきれいに食べられ、元気に過ごされています。



【中内 治雄さん】

大正2年8月19日生

平成17年5月31日に入所されました。入所されて間もない中内さんですが、声掛けに大きな声で返答され、笑顔が素敵な方です。

御寄付・御寄贈ありがとうございました

平成17年7月1日～平成17年9月30日（敬称略）

【わかふじ寮】

広尾町 松下光雄
札幌市 石川絵里香
羽村市 岸 良太郎
清水町 しみず中央薬局
新得町 金元弘子
新得町 有みうら
新得町 マキ鉄工製作所
札幌市 株エヌ・ティ・ティ フシリティーズ
新得町 株田村工業
帶広市 株齊藤塗料
新得町 鳥せい新得店
新得町 佐藤茂光
厚真町 (福)北海道厚真福祉会
新得町 しんとく女性の会
新得町 (医)浅井医院
新得町 ともしひ会
新得町 山本 洋
新得町 新得神社
新得町 太田喜代
【本部】 歌志内市 太田ゆかり
札幌市 岩倉建設(株)
【やすらぎ荘】 新得町 狩勝自動車

新得町 JA新得農協

青森市 千葉玄昭
当麻町 藤谷 悟
山口和子
釧路市 池田順子
旭川市 秋田雅憲
上川町 佐藤加代子
置戸町 中川 弘
堀川静香
札幌市 日本タバコ産業 北海道支店
【新得やすらぎ荘】
新得町 三浦商店
狩勝自動車工業
佐藤茂光
関 孝和
千葉玄昭
東京都 川中美幸
音更町 岡田美和子
【屈足わかふじ園】
陸別町 三好貞子
美唄市 鳴原ヤイ
足寄町 高橋 敏
清水町 中島 博
帶広市 荒井洋子
本田公一

帶広市

日清医療食品
札幌福祉医療器
帯広ヤクルト販売(株)
小田天光堂
松田商店
高砂屋
カラオケ友の会
五十嵐 静
吉田功二
佐々木三男
鈴木ミヨ子
鎌田恵子
千葉玄昭
田中君子
中野フク
小坂民子
田中ミヨ子
宮路禮子
譲葉陽子
土士幌町 高谷富子
本別町 嶋崎真知子
【デイサービス】
新得町 佐藤キヌヨ

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けていますのでご利用ください。

厚生協会ホームページ
<http://www.wakafuji.or.jp>

厚生協会E-mailアドレス
wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)
wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)

閲覧

厚生協会の事業報告書・財産目録・貸借対照表及び収支計算書等が閲覧できます。

閲覧場所

厚生協会 法人事務局
新得町西3条北1丁目わかふじ寮内

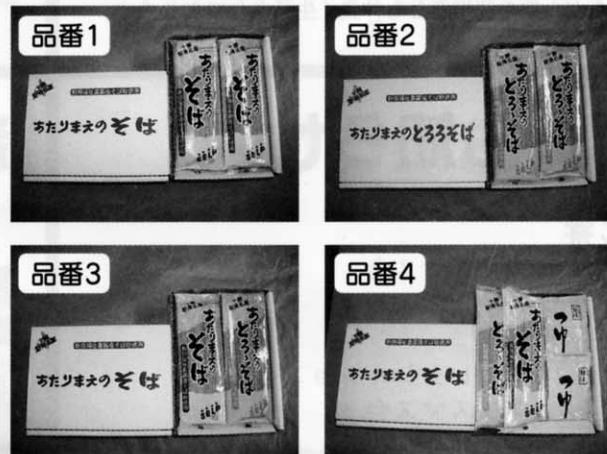
編集後記

これから冬の到来を控え、何かとあわただしくなる季節となりました。今年の夏は、国内外で大きな自然災害も起こった中、冬は大丈夫かなと思う今日この頃です。

今回の広報誌発行にあたっては、利用者の夏の思い出と福祉を取り巻く情勢を中心に企画しました。今後も慣れない編集作業でありますですが皆様に关心を持って頂ける内容になるよう努力してまいります。

第18号広報誌編集委員一同

あたりまえのそば



「あたりまえのそば」・「あたりまえのとろろそば」
お歳暮にいかがでしょうか？

「お歳暮」の一品にお加え下さい。特別価格にて販売いたします。別紙注文用紙にてFAXまたは、郵送にてお申し付けください。

ご不明な点は

わかふじ寮 ☎01566-4-5001までご連絡ください。
お待ちいたしております。

品番	品名	規格	特別価格
1	あたりまえのそば	10把 化粧箱入り	1,650円
2	あたりまえのとろろそば	10把 化粧箱入り	1,900円
3	そば+とろろそばAセット	各5把 化粧箱入り	1,800円
4	そば+とろろそばBセット	各3把+そばつゆ12個化粧箱入り	1,850円